

静岡県月例経済報告

(平成30年5月号)

……平成30年3月を中心とした県内経済のすがた……

No. 505

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	14
・ その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成30年3月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成30年3月を中心とした静岡県の景気は、回復しつつある。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が一服している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(3月)は、百貨店が3か月連続、スーパーが2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも、3か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(3月)は、家電大型専門店が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが2か月ぶり、ドラッグストアが13か月連続、ホームセンターが3か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも13か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(3月)は、乗用車が6か月連続、軽自動車が13か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(3月)は、持家、貸家がいずれも2か月連続、分譲住宅が3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(3月)は、5か月ぶりに前年実績を上回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(平成30年4月2日)の平成30年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(3月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、増勢が一服している」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（3月）は、エアコンが5か月ぶりに前年実績を上回ったものの、原動機が4か月ぶり、自動車は3か月連続、自動車の部分品が11か月連続、二輪自動車類、科学光学機器がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（3月）は、木材が3か月連続、パルプが5か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品が2か月連続、紙類及び同製品、自動車の部分品が3か月ぶり、原動機が3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも13か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,082億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる」

鉱工業生産指数（2月）は、電気機械が4か月ぶり、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が4か月連続、輸送機械が2か月連続、化学が14か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が4か月ぶりに前年水準を下回ったことから、総合でも2か月連続で前年水準を下回った。また、2か月ぶりに前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（2月）は、総合では5か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（3月）は1.66倍で、前月を0.01ポイント上回った。また、50か月連続で1倍を上回った。なお、13か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（3月）は、56か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（1月）は、2か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（3月）は、前年同月比0.6%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（3月）は、前年同月比7.3%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（4月）は、件数は12件（前年同月比47.8%減）、負債総額は21億1,300万円（同68.0%減）と、いずれも前年実績を下回った。

水産技術研究所(本所)は、焼津漁港管理事務所とともに耐震性及び耐浪性を備えた新庁舎に移転しました。

このたび、同所に併設する展示室の一般開放の開始に合わせて、水産技術研究所・焼津漁港管理事務所の開所式が行われ、当日は、知事をはじめ県議会副議長や、焼津市長、水産業関連企業・団体ほか約100人が出席し、テープカット等の式典が行われました。

1 概要

- (1) 日時 平成30年5月8日(火) 午前10時～11時10分
- (2) 場所 水産技術研究所・焼津漁港管理事務所(焼津市鰯ヶ島136-24)

2 水産技術研究所・焼津漁港管理事務所の概要

- (1) 所在地 焼津市鰯ヶ島136-24
- (2) 構造 鉄筋コンクリート造一部4階
- (3) 面積 3,712平方メートル(庁舎3,155平方メートル、付属棟557平方メートル)
- (4) 特徴
 - ・ 矩形(長方形)の堅固な構造とし、耐震性と耐浪性を確保
 - ・ 津波避難用階段を設置し屋上に津波避難スペースを確保(125人収容可能)
 - ・ 非常用自家発電を非浸水階(4階)に設置し、津波到来後も電力供給が可能
 - ・ 子どもたちの学習の場となる展示室を併設
- (5) 展示室の概要
 - ・ 水産技術研究所の研究成果、水産業の現状や静岡の豊かな自然などを紹介
 - ・ 30t、10tなど大小の水槽による魚の展示
 - ・ 最新の大型のジオラママッピングによる水産業の紹介など(入場無料。開館は原則として、平日の午前9時から午後4時30分まで)



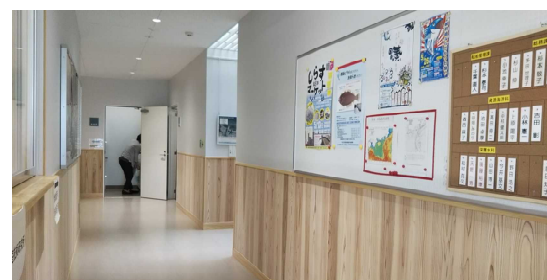
テープカットの様子



大水槽による展示



最新のジオラママッピングによる水産業の紹介



県産材を使用した内装

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

3月 = 33,271百万円

*前年同月比： 2.8%減

(県内3百貨店、133スーパー合計)

<概況>

3月の大型小売店販売額は33,271百万円で、前年同月比 2.8%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 2.5%減）が3か月連続、スーパー（同 2.9%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 1.3%減）が3か月連続、身の回り品（同 3.8%減）が2か月ぶり、飲食料品（同 2.2%減）が9か月連続、家庭用品（同 4.1%減）が6か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.5%減と、4か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
販売額(百万円)	33,985	31,500	33,613	34,063	42,544	36,380	30,823	33,271
前年同月比(%)	▲1.4	▲0.8	▲2.3	▲1.5	0.1	▲0.9	▲0.4	▲2.8
うち百貨店(%)	▲0.6	6.0	▲4.4	0.9	0.8	▲2.4	▲1.7	▲2.5
スーパー(%)	▲1.6	▲2.3	▲1.8	▲2.2	▲0.1	▲0.6	0.0	▲2.9
(参考1)全国前年同月比(%)	0.6	1.9	▲0.7	1.4	1.1	0.5	0.6	0.1
うち百貨店(%)	2.1	4.2	▲0.5	3.6	0.8	▲0.1	0.3	0.9
スーパー(%)	0.1	0.8	▲0.9	0.2	1.3	0.7	0.7	▲0.4
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.2	0.5	▲1.1	▲0.6	1.3	0.1	0.8	▲1.5

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
衣料品	▲5.3	1.7	▲3.8	▲4.6	0.7	▲5.0	▲0.8	▲1.3
うち紳士服・洋品	▲8.0	3.8	▲1.6	▲4.6	2.0	▲2.7	▲3.5	▲5.0
婦人・子供服・洋品	▲3.6	1.6	▲4.4	▲4.0	0.6	▲6.1	0.9	1.0
身の回り品	▲3.6	6.2	▲3.3	▲3.5	0.0	▲1.6	2.0	▲3.8
飲食料品	▲1.3	▲2.5	▲2.1	▲1.6	▲0.1	▲0.2	▲0.3	▲2.2
家庭用品	▲3.3	1.4	▲4.0	▲4.6	▲5.1	▲1.9	▲2.8	▲4.1
うち家庭用電気機械器具	▲12.1	▲5.4	▲10.4	▲6.2	▲14.7	▲10.1	▲6.9	3.5

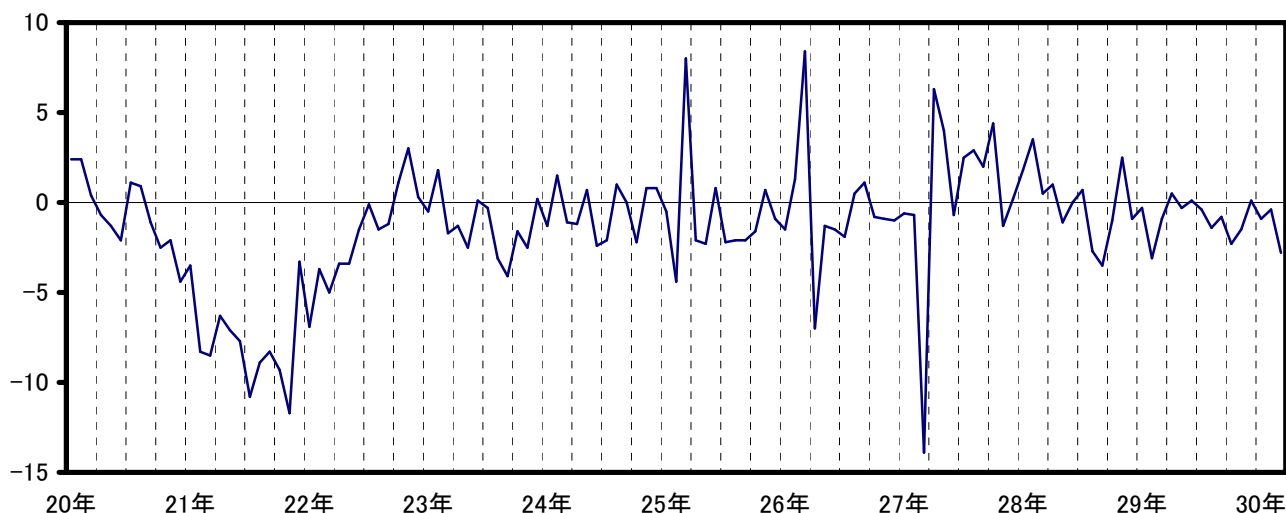
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

3月 = 68,567百万円

*前年同月比： 1.8%増

(県内94家電大型専門店、1,731コンビニエンスストア、466ドラッグストア、103ホームセンター合計)

<概況>

3月の専門量販店等販売額は68,567百万円で、前年同月比 1.8%増となり、13か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 0.2%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア（同 1.1%増）が2か月ぶり、ドラッグストア（同 4.3%増）が13か月連続、ホームセンター（同 0.8%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
販売額(百万円)	70,918	63,700	64,401	64,592	76,204	64,875	58,880	68,567
前年同月比(%)	2.7	3.5	0.1	2.9	3.4	2.4	2.3	1.8
うち 家電大型専門店(%)	4.6	0.7	▲ 2.4	5.2	7.3	5.0	4.7	▲ 0.2
コンビニエンスストア(%)	2.0	1.4	▲ 0.6	0.3	0.5	0.5	▲ 0.1	1.1
ドラッグストア(%)	4.8	8.5	5.7	6.6	6.5	5.9	6.1	4.3
ホームセンター(%)	▲ 1.0	2.7	▲ 7.5	0.9	1.2	▲ 2.2	▲ 0.7	0.8
(参考)全国前年同月比(%)	3.3	3.5	0.9	3.6	3.8	2.9	2.9	3.4

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

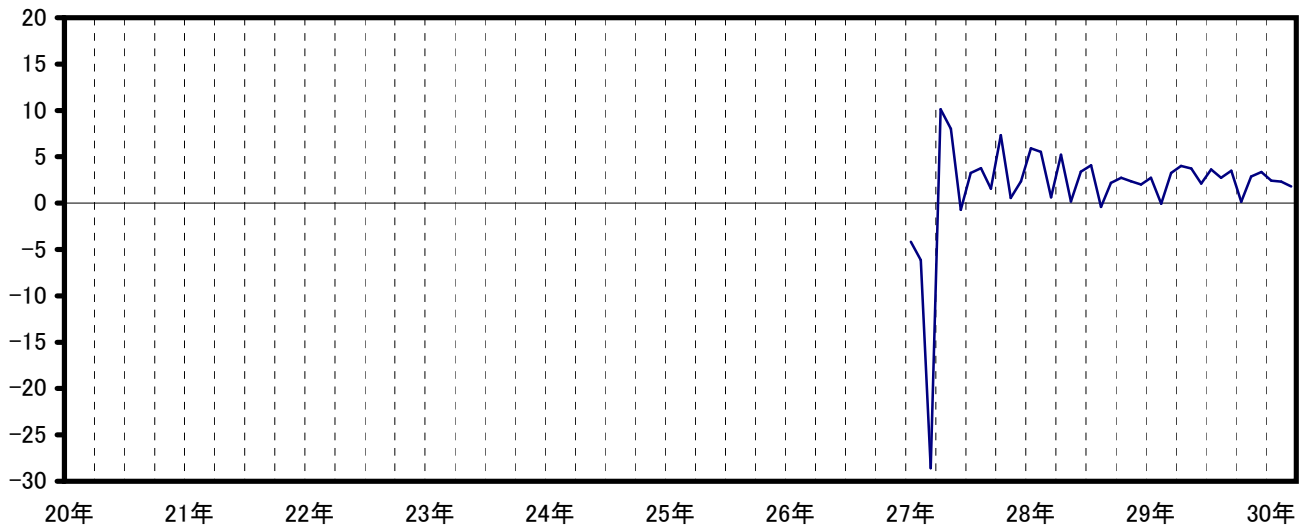
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

3月 = 23,209 台

*前年同月比： 4.9%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

3月の自動車(新車)新規登録台数は23,209台(前年同月比 4.9%減)となり、2か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 7.7%減)が6か月連続、軽自動車(同 0.9%減)が13か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
登録台数(台)	11,788	17,157	12,382	13,434	13,048	15,357	17,887	23,209
前年同月比(%)	5.8	5.0	▲1.0	▲1.5	▲3.7	3.0	▲0.1	▲4.9
(参考)全国前年同月比(%)	4.1	5.3	▲1.2	▲2.7	▲0.8	▲1.1	▲2.8	▲3.6

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

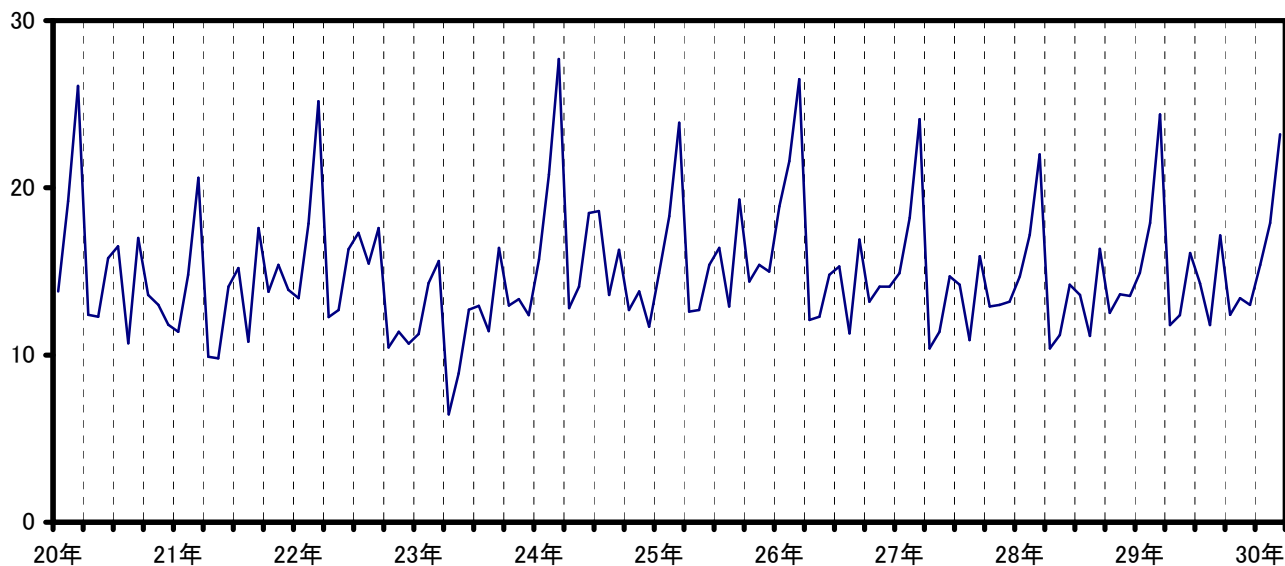
	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
全乗用車	5.8	5.0	▲1.0	▲1.5	▲3.7	3.0	▲0.1	▲4.9
乗用車	8.6	5.1	▲7.4	▲4.3	▲6.5	▲6.7	▲1.5	▲7.7
軽自動車	2.2	4.9	7.5	2.4	0.4	16.6	1.7	▲0.9

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

3月 = 1,483 戸

*前年同月比： 17.9%減

<概況>

3月の新設住宅着工戸数は1,483戸で、前年同月比 17.9%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 3.4%減）、貸家（同 22.9%減）がいずれも2か月連続、分譲住宅（同 37.2%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

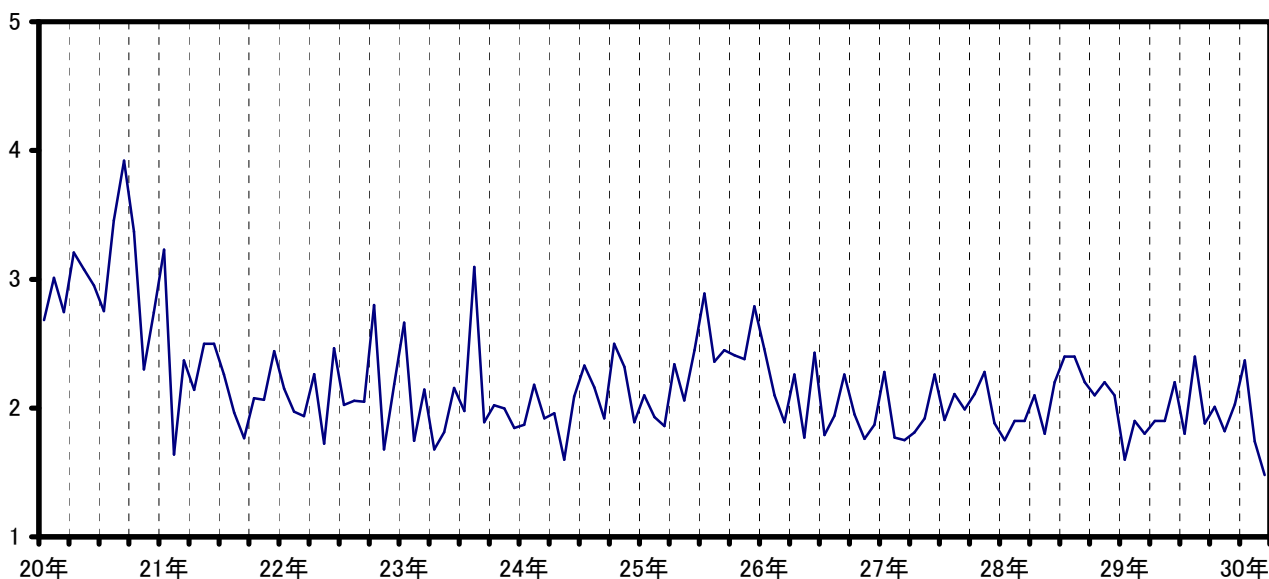
	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
戸数 (戸)	2,387	1,878	2,012	1,820	2,032	2,369	1,742	1,483
前年同月比 (%)	▲ 0.7	▲ 13.8	▲ 3.5	▲ 17.8	▲ 2.0	44.0	▲ 9.8	▲ 17.9
うち持家 (%)	▲ 9.9	▲ 7.7	▲ 5.3	▲ 12.0	▲ 0.9	21.2	▲ 24.3	▲ 3.4
貸家 (%)	22.5	▲ 31.3	7.9	▲ 35.4	▲ 0.4	34.5	▲ 7.9	▲ 22.9
分譲住宅 (%)	▲ 17.5	0.0	▲ 15.9	11.2	▲ 8.8	124.9	35.3	▲ 37.2
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 4.8	▲ 0.4	▲ 2.1	▲ 13.2	▲ 2.6	▲ 8.3

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

3月 = 16,358百万円

*前年同月比： 1.7%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

3月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は16,358百万円で、前年同月比1.7%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は195件で、前年同月比17.0%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
金額(百万円)	24,287	45,692	21,188	13,967	13,064	9,580	8,327	16,358
前年同月比(%)	▲17.7	▲9.3	9.8	▲1.7	▲21.4	▲8.4	▲33.2	1.7
年度累計前年同月比(%)	6.3	2.4	3.0	2.7	1.1	0.7	▲0.8	▲0.7
件数(件)	792	1,371	729	667	694	369	185	195
前年同月比(%)	▲10.5	▲5.1	11.0	1.5	▲10.1	▲15.0	▲42.4	▲17.0
年度累計前年同月比(%)	0.5	▲1.3	0.2	0.4	▲0.8	▲1.7	▲3.4	▲3.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

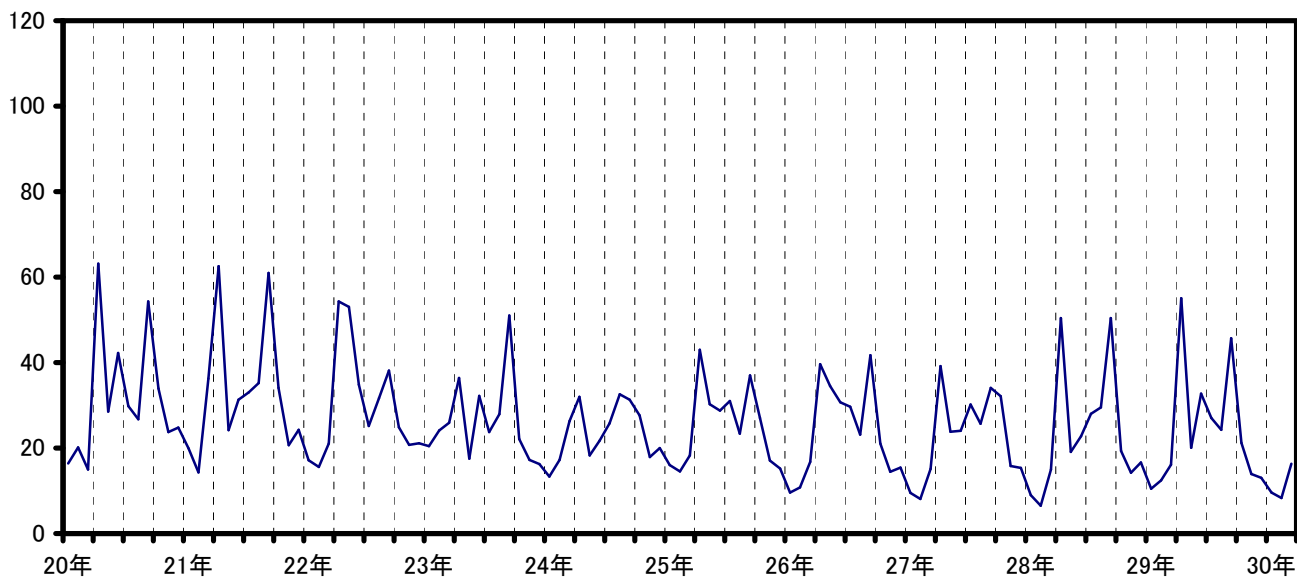
	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
国	▲40.7	3.6	107.7	108.8	▲99.1	▲63.5	▲35.2	▲44.9
独立行政法人等	5,289.9	▲49.2	▲33.9	▲59.0	113.4	77.7	758.0	1,746.6
県	▲18.2	3.3	▲35.0	▲24.9	▲6.3	67.2	▲73.7	▲23.0
市町	▲17.8	▲18.9	28.9	11.3	▲21.2	▲27.7	▲29.6	54.2
地方公社	39.3	586.3	▲90.9	21.0	▲80.9	—	—	—
その他	▲47.0	153.8	316.9	▲45.7	▲81.8	▲63.2	389.1	▲96.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 4.4%増）で増加、非製造業（同 3.4%減）で減少し、全産業（同 0.9%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 4.0%増）で増加、非製造業（同 1.2%減）で減少し、全産業（同 2.8%増）で増加する計画となっている。

3月の着工建築物床面積（非居住用）は63,422㎡で、前年同月比 28.9%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		29年度 (計画)	30年度 (計画)
全産業	県	(▲2.1) 10.4	0.9
	全国	(▲0.4) 4.0	▲ 0.7
製造業	県	(▲4.5) 16.4	4.4
	全国	(▲3.2) 6.5	6.0
非製造業	県	(1.1) 3.5	▲ 3.4
	全国	(1.3) 2.7	▲ 4.5

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		29年度 (計画)	30年度 (計画)
全産業	県	(▲1.3) 11.3	2.8
	全国	(▲1.4) 4.2	2.0
製造業	県	(▲1.7) 14.3	4.0
	全国	(▲2.7) 4.1	4.6
非製造業	県	(▲0.1) 2.9	▲ 1.2
	全国	(0.1) 4.4	▲ 0.7

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成30年3月調査)」

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	131,182	82,379	117,588	96,613	109,021	86,688	123,341	63,422
前年同月比（%）	▲ 29.5	▲ 51.9	50.8	▲ 32.1	1.0	▲ 43.9	49.6	▲ 28.9
(参考) 全国前年同月比（%）	▲ 3.3	6.9	16.2	6.3	▲ 10.8	▲ 6.8	0.4	17.5

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	29年12月	30年3月	30年6月 (予測)
全 産 業	19	17	7
製 造 業	23	18	9
非 製 造 業	16	18	6
(参考) 全国 ・ 全産業	16	17	12

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年3月調査)」

5 輸出

3月 = 187,023百万円

*前年同月比： 5.1%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸出総額は187,023百万円で、前年同月比 5.1%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 18.4%増）が5か月ぶりに前年実績を上回ったものの、原動機（同 6.9%減）が4か月ぶり、自動車（同 54.4%減）が3か月連続、自動車の部分品（同 6.2%減）が11か月連続、二輪自動車類（同 21.8%減）、科学光学機器（同 2.4%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 1.2%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、米国向け（同 2.4%減）が4か月連続、EU向け（同 20.1%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
輸出総額(百万円)	171,418	176,036	185,489	178,887	199,181	157,324	174,327	187,023
前年同月比(%)	18.2	7.1	17.7	9.5	5.4	5.5	▲4.7	▲5.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
原動機	5.8	9.5	7.2	▲2.6	3.2	10.8	13.8	▲6.9
エアコン	▲12.6	28.7	32.0	▲0.5	▲2.3	▲23.7	▲21.4	18.4
自動車	308.4	1.6	148.3	138.9	16.4	▲1.0	▲2.1	▲54.4
自動車の部分品	▲0.3	▲17.4	▲11.2	▲15.8	▲18.2	▲14.2	▲14.5	▲6.2
二輪自動車類	28.4	32.7	24.0	10.2	10.6	6.9	▲22.9	▲21.8
科学光学機器	53.8	45.3	38.2	30.7	51.8	20.1	▲9.0	▲2.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
アジア	23.0	7.4	18.9	7.3	6.4	10.6	▲8.2	1.2
米国	▲0.9	5.3	▲11.2	0.2	▲7.0	▲1.9	▲0.1	▲2.4
EU	41.8	8.7	54.9	23.4	20.9	4.3	▲9.7	▲20.1

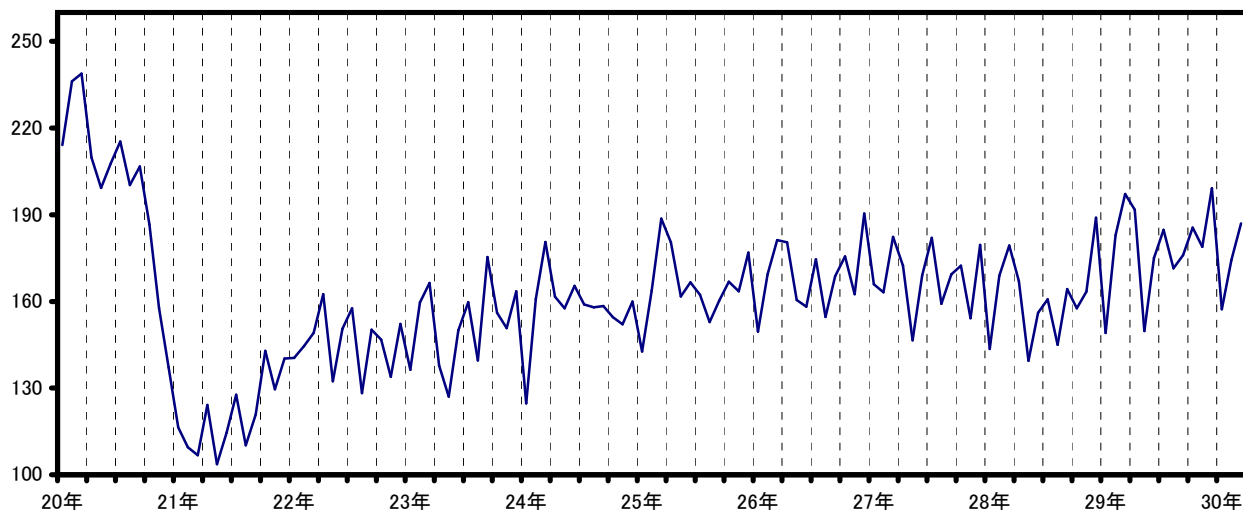
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

3月 = 78,820百万円

*前年同月比： 13.0%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸入総額は78,820百万円で、前年同月比 13.0%減となり、13か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 5.5%増）が3か月連続、パルプ（同 23.2%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 13.1%減）が2か月連続、紙類及び同製品（同 4.1%減）、自動車の部分品（同 20.7%減）が3か月ぶり、原動機（同 21.4%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、EUから（前年同月比 4.9%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジアから（同 11.8%減）が13か月ぶり、米国から（同 3.9%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
輸入総額(百万円)	85,404	83,678	73,321	89,593	89,185	89,767	85,321	78,820
前年同月比(%)	13.4	13.8	3.8	9.6	15.5	6.3	18.6	▲13.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
魚介類及び同調製品	—	—	—	—	—	26.2	▲6.2	▲13.1
木材	9.8	34.2	30.1	64.8	▲3.3	3.8	7.9	5.5
パルプ	37.6	50.8	▲4.9	75.7	46.4	18.2	43.2	23.2
紙類及び同製品	13.2	▲9.8	4.3	33.1	▲24.2	2.5	4.2	▲4.1
原動機	▲68.9	▲9.6	▲8.6	▲29.1	1.6	▲40.2	▲67.3	▲21.4
自動車の部分品	21.3	▲0.4	15.8	▲4.6	▲26.9	1.0	27.1	▲20.7

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

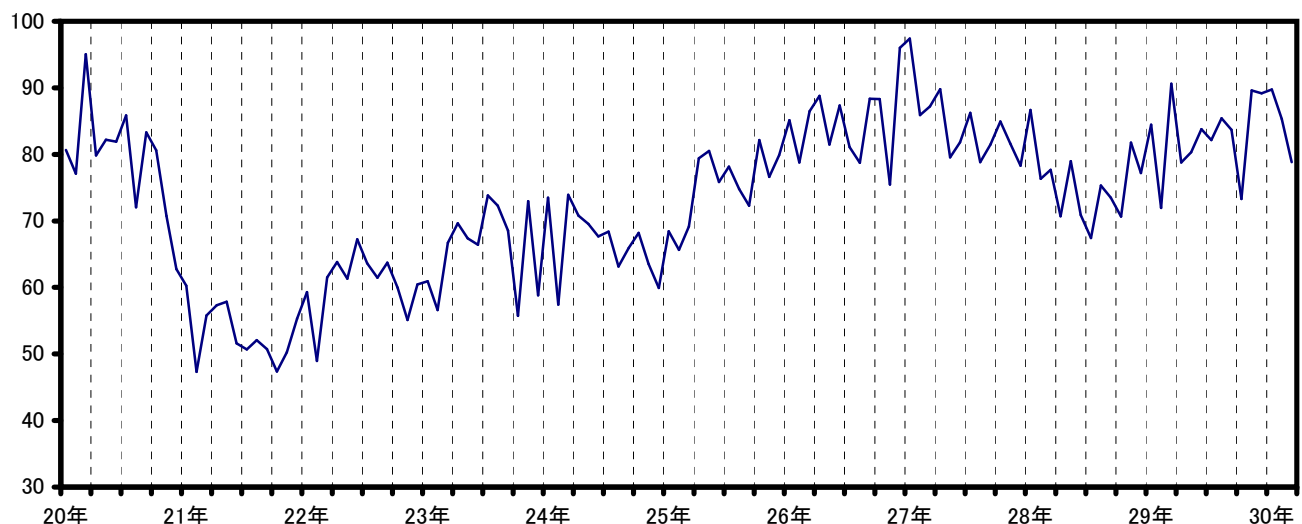
	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
アジア	1.6	22.2	1.2	12.0	11.7	0.9	21.8	▲11.8
米国	▲4.9	21.4	▲1.0	9.1	▲2.6	13.1	▲15.7	▲3.9
EU	30.7	21.5	24.5	5.9	22.3	42.3	▲23.6	4.9

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

2月 = 93.8

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.2%増

*前年同月比(原指数) : 2.0%減

<概況>

2月の鉱工業生産指数(総合)は93.8(季節調整済指数)で、前月比3.2%増となり、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は2.0%減と2か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、電気機械(前年同月比1.6%増)が4か月ぶり、食料品・たばこ(同7.2%増)が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同4.8%減)が4か月連続、輸送機械(同8.2%減)が2か月連続、化学(同0.7%減)が14か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同2.7%減)が4か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
指数	91.3	94.1	93.2	96.3	92.6	95.7	90.9	93.8
前月比(%)	▲1.0	3.1	▲1.0	3.3	▲3.8	3.3	▲5.0	3.2
前年同月比(%)	3.0	4.0	2.3	9.6	2.8	3.2	▲1.1	▲2.0
(参考)全国前年同月比(%)	4.7	5.4	2.5	5.9	3.7	4.2	2.7	1.4

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲3.7	▲6.8	▲4.7	19.5	▲1.6	▲1.8	▲9.3	▲4.8
電気機械工業	4.1	9.3	3.9	5.5	▲3.9	▲1.4	▲3.2	1.6
輸送機械工業	3.7	10.0	11.4	20.2	10.6	6.1	▲1.6	▲8.2
化学工業	7.0	2.3	1.3	10.0	6.4	8.0	0.8	▲0.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.7	▲0.4	▲1.9	▲1.5	1.5	1.8	2.2	▲2.7
食料品・たばこ工業	0.8	0.9	▲6.3	▲3.4	▲8.4	0.4	▲2.1	7.2

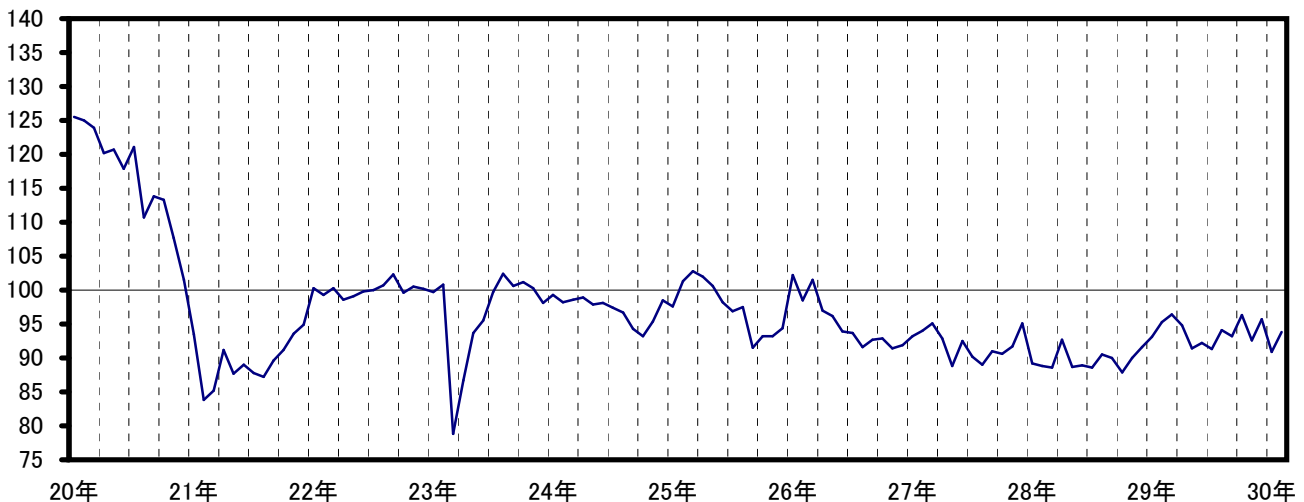
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

2月 = 125.2

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 6.2%増

*前年同月比(原指数) : 4.9%増

<概況>

2月の鋳工業在庫指数(総合)は125.2(季節調整済指数)で、前月比は6.2%増と3か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は4.9%増と5か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比 5.7%減)が5か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 10.3%減)が8か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 6.7%増)が2か月連続、電気機械(同 7.9%増)が7か月連続、化学(同 27.6%増)が9か月連続、食料品・たばこ(同 11.8%増)が3か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
指数	113.4	113.3	111.2	116.6	114.5	115.5	117.9	125.2
前月比(%)	▲4.1	▲0.1	▲1.9	4.9	▲1.8	0.9	2.1	6.2
前年同月比(%)	▲0.5	▲1.0	▲0.8	5.3	4.9	8.9	4.8	4.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.4	▲3.0	▲2.4	1.9	2.8	2.0	1.4	1.6

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	1.6	0.2	4.7	3.9	▲8.9	▲0.2	3.0	6.7
電気機械工業	▲0.7	0.5	6.3	16.7	19.7	22.1	10.6	7.9
輸送機械工業	▲22.7	▲26.1	▲14.9	6.0	20.3	36.6	9.2	▲5.7
化学工業	5.9	12.4	7.3	23.9	25.4	24.3	26.9	27.6
パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.5	▲6.0	▲6.4	▲9.7	▲6.9	▲4.1	▲6.1	▲10.3
食料品・たばこ工業	1.7	7.7	4.6	12.9	▲4.0	7.7	10.1	11.8

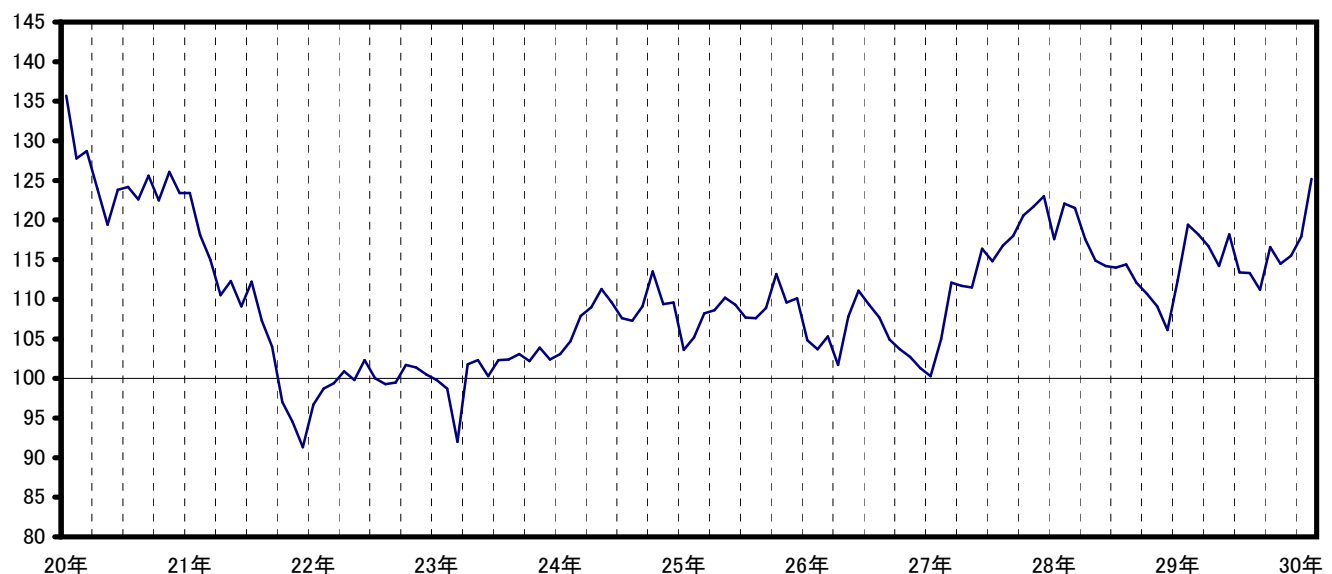
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

3 月 = 1.66倍

*前月比 (季節調整値) : 0.01ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

3月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.66倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、13か月連続で全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比7.7%増)は26か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比13.2%減)が2か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同1.5%減)が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業(同8.5%増)が2か月ぶり、製造業(同16.5%増)が29か月連続、運輸業・郵便業(同11.5%増)が17か月連続、卸売業・小売業(同3.2%増)が5か月ぶり、医療・福祉(同5.1%増)が19か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
県	1.56	1.57	1.59	1.60	1.61	1.61	1.65	1.66
全 国	1.52	1.53	1.55	1.56	1.59	1.59	1.58	1.59

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
建 設 業	15.3	5.9	13.3	10.5	7.8	8.7	▲1.8	8.5
製 造 業	11.0	7.2	13.3	14.9	22.1	12.3	10.7	16.5
情 報 通 信 業	▲12.2	9.2	16.2	▲17.6	16.7	17.6	▲19.3	▲13.2
運 輸 業 ・ 郵 便 業	19.6	20.9	9.6	7.0	17.6	3.6	13.8	11.5
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲5.7	7.6	1.4	▲1.9	▲0.3	▲1.7	▲5.2	3.2
医 療 ・ 福 祉	15.4	22.5	2.4	11.3	15.1	5.2	8.7	5.1
サービス業(他に分類されないもの)	6.8	29.2	20.6	▲5.8	13.6	2.3	13.5	▲1.5
合 計	9.1	15.7	9.7	5.9	14.0	5.5	6.8	7.7

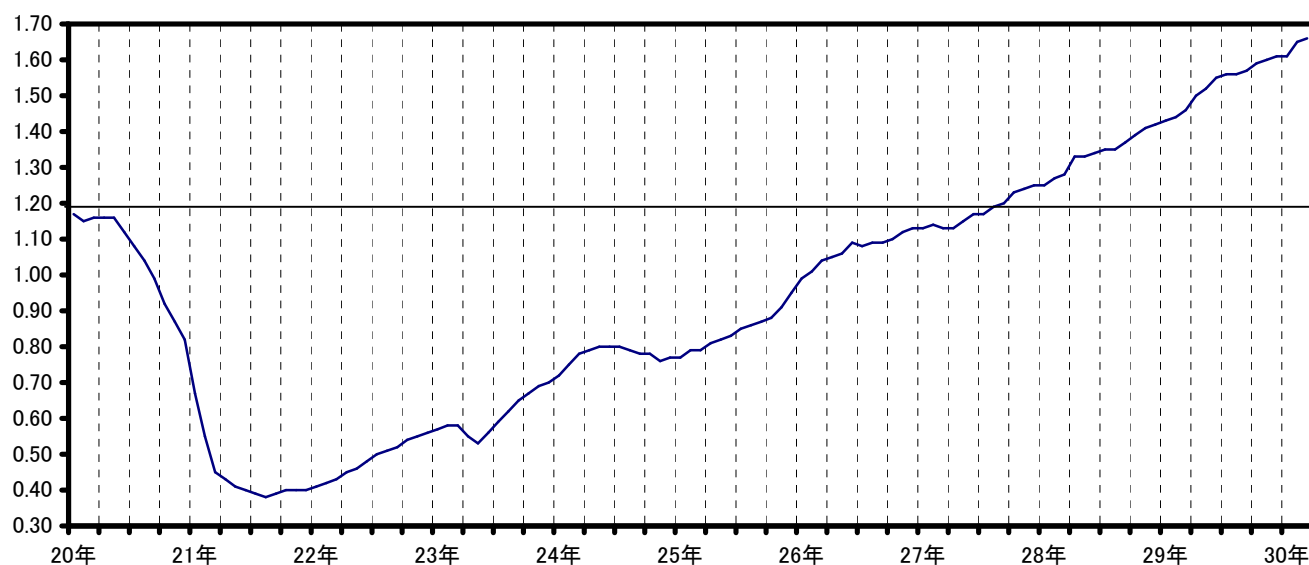
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

3月 = 9,460人

*前月比: 1.8%減

*前年同月比: 5.7%減

<概況>

3月の雇用保険受給者実人員は9,460人で、前月比は1.8%減と7か月連続で前月を下回った。
 また、前年同月比は5.7%減と56か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.5%で、前月と同水準だった。
 静岡県(平成29年10~12月)の完全失業率は2.3%で、前期(29年7~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
実人員(人)	11,844	11,236	11,111	10,848	10,275	10,153	9,629	9,460
前月比(%)	6.8	▲5.1	▲1.1	▲2.4	▲5.3	▲1.2	▲5.2	▲1.8
前年同月比(%)	▲11.0	▲11.5	▲8.7	▲6.4	▲5.9	▲5.3	▲5.3	▲5.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲6.8	▲6.9	▲2.6	▲3.3	▲4.7	▲4.1	▲5.4	▲6.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
完全失業率(全国)(%)	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.4	2.5	2.5

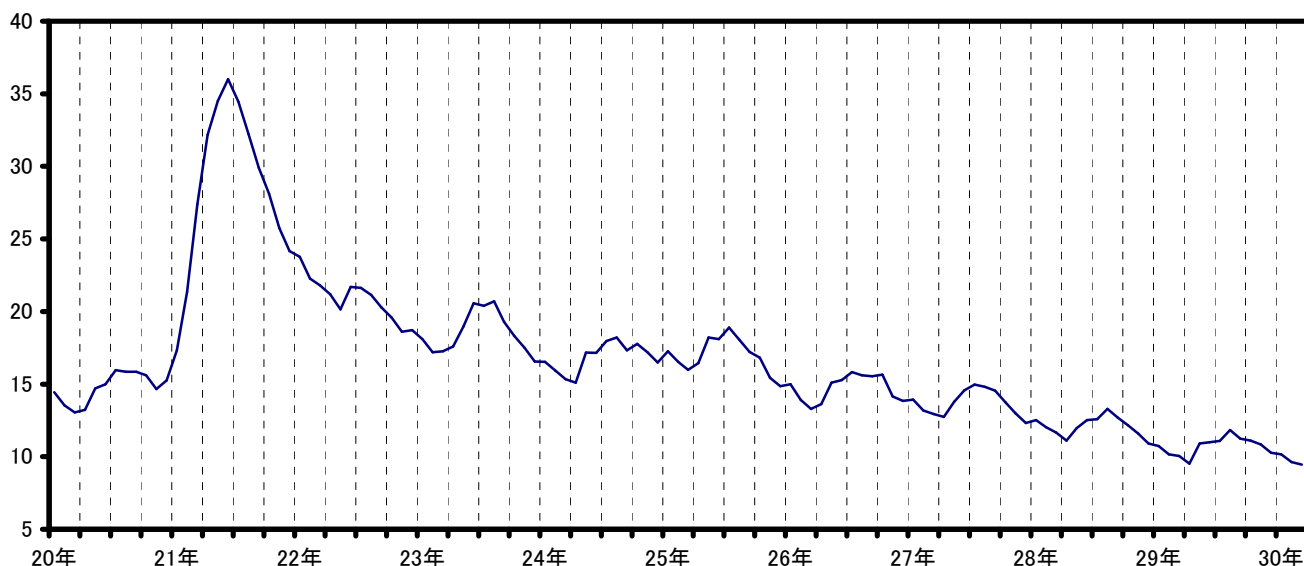
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

1 月 = 91.3

*前月比(季節調整済指数): 7.7%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 9.6%減

<概況>

1月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は91.3(季節調整済指数)で、前月比7.7%減となった。また、前年同月比(原指数)は9.6%減と2か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比48.2%増)、医療・福祉(同8.4%増)がいずれも3か月連続、卸売業・小売業(同19.0%増)が8か月連続、その他のサービス業(同60.6%増)が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業(同16.2%減)が4か月連続、製造業(同8.9%減)が2か月連続、運輸業・郵便業(同7.6%減)が11か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
指数	105.5	103.2	100.2	106.4	105.0	106.8	98.9	91.3
前月比(%)	0.8	▲2.2	▲2.9	6.2	▲1.3	1.7	▲7.4	▲7.7
前年同月比(%)	1.3	0.0	2.4	4.9	2.0	6.1	▲1.3	▲9.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.8	▲0.9	0.8	▲0.1	▲0.2	▲0.1	0.6	▲2.4

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
建設業	5.2	▲13.4	▲1.5	13.9	▲26.9	▲10.8	▲1.6	▲16.2
製造業	7.6	▲0.3	0.8	6.2	1.3	9.5	▲1.2	▲8.9
情報通信業	▲4.6	3.4	▲4.7	19.8	▲3.2	2.3	6.6	48.2
運輸業・郵便業	▲3.8	▲1.1	▲3.7	▲0.6	▲5.1	▲13.2	▲11.4	▲7.6
卸売業・小売業	2.6	24.8	9.8	24.0	46.9	14.8	11.5	19.0
医療・福祉	▲14.0	▲2.8	6.1	▲1.7	▲12.9	9.2	11.5	8.4
その他のサービス業	▲5.3	12.6	14.4	13.1	38.8	26.0	▲4.7	60.6
調査産業計	1.3	0.0	2.4	4.9	2.0	6.1	▲1.3	▲9.6

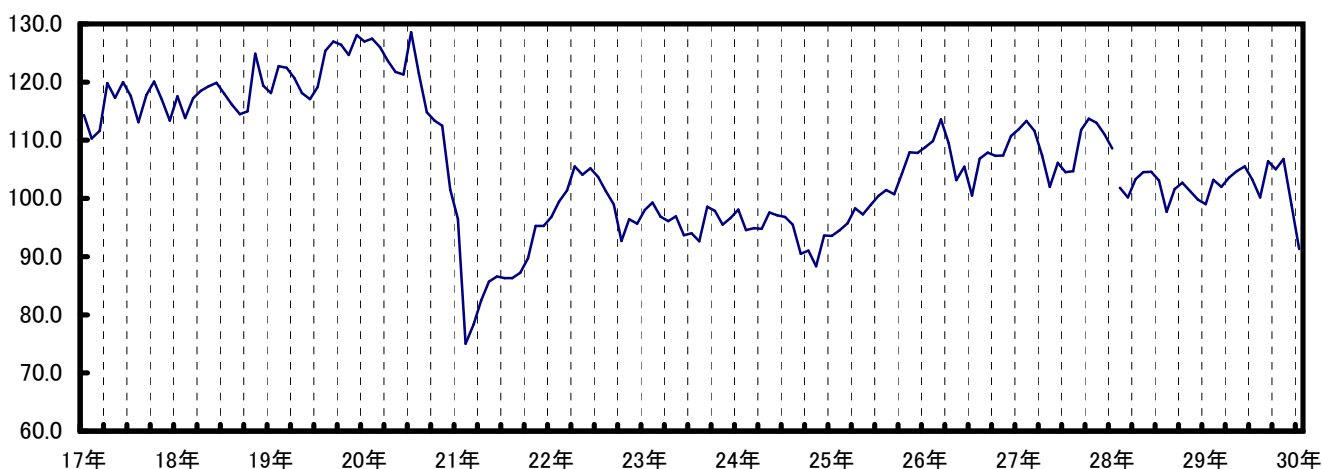
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

4 月 = 100.4

(平成27年=100)

*前 月 比: 0.1%上昇

*前年同月比: 2.0%上昇

<概 況>

4月の国内企業物価指数は100.4となり、前月比は0.1%の上昇となった。また、前年同月比は2.0%の上昇となった。

<最近の動き>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
国内企業物価指数	99.0	99.4	99.8	100.0	100.3	100.4	100.3	100.4
前 月 比 (%)	0.2	0.4	0.4	0.2	0.3	0.1	▲ 0.1	0.1
前年同月比 (%)	3.0	3.5	3.5	3.0	2.7	2.6	2.1	2.0

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

3 月 = 140,606億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 0.8%増

*前年同月比: 0.6%増

<概 況>

3月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は140,606億円で、前月比は0.8%の増加となり、前年同月比は0.6%の増加となった。

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
貸出残高(億円)	139,196	141,064	139,254	139,604	141,576	139,613	139,486	140,606
前 月 比 (%)	0.0	1.3	▲ 1.3	0.3	1.4	▲ 1.4	▲ 0.1	0.8
前年同月比 (%)	2.4	2.4	2.0	1.7	1.8	1.3	1.2	0.6

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

3 月 = 2.072%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.028ポイント減

*前年同月差: 0.056ポイント減

<概 況>

3月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.072%で、前月から0.028ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.056ポイントのマイナスとなった。

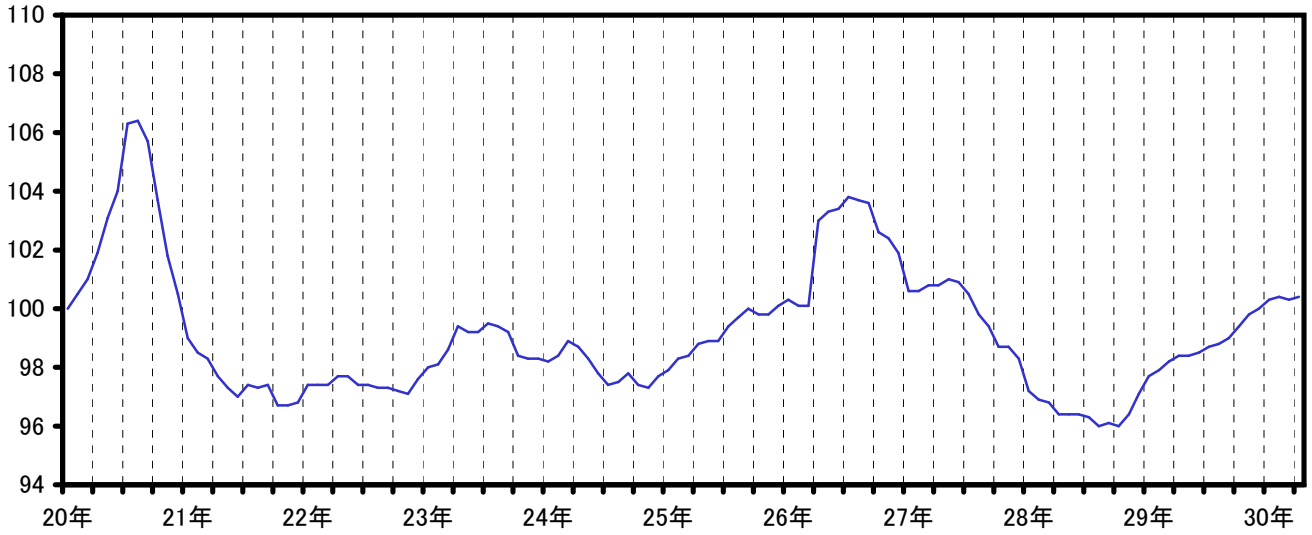
	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
貸出約定金利(%)	2.122	2.111	2.123	2.117	2.098	2.106	2.100	2.072
前月差(ポイント)	0.002	▲ 0.011	0.012	▲ 0.006	▲ 0.019	0.008	▲ 0.006	▲ 0.028
前年同月差(ポイント)	▲ 0.032	▲ 0.033	▲ 0.029	▲ 0.029	▲ 0.026	▲ 0.028	▲ 0.038	▲ 0.056

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

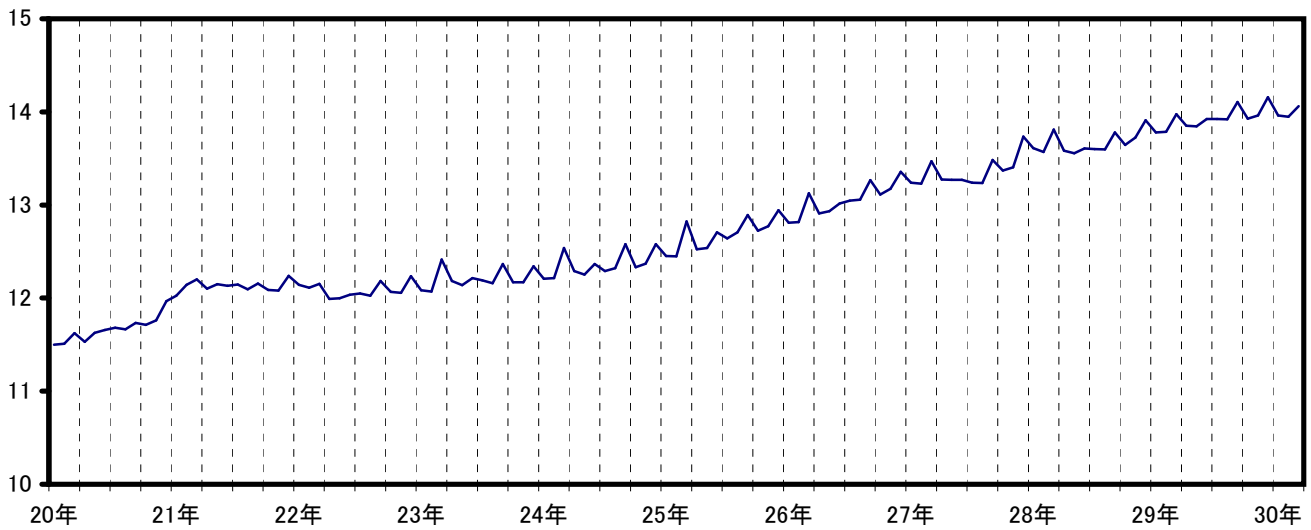
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



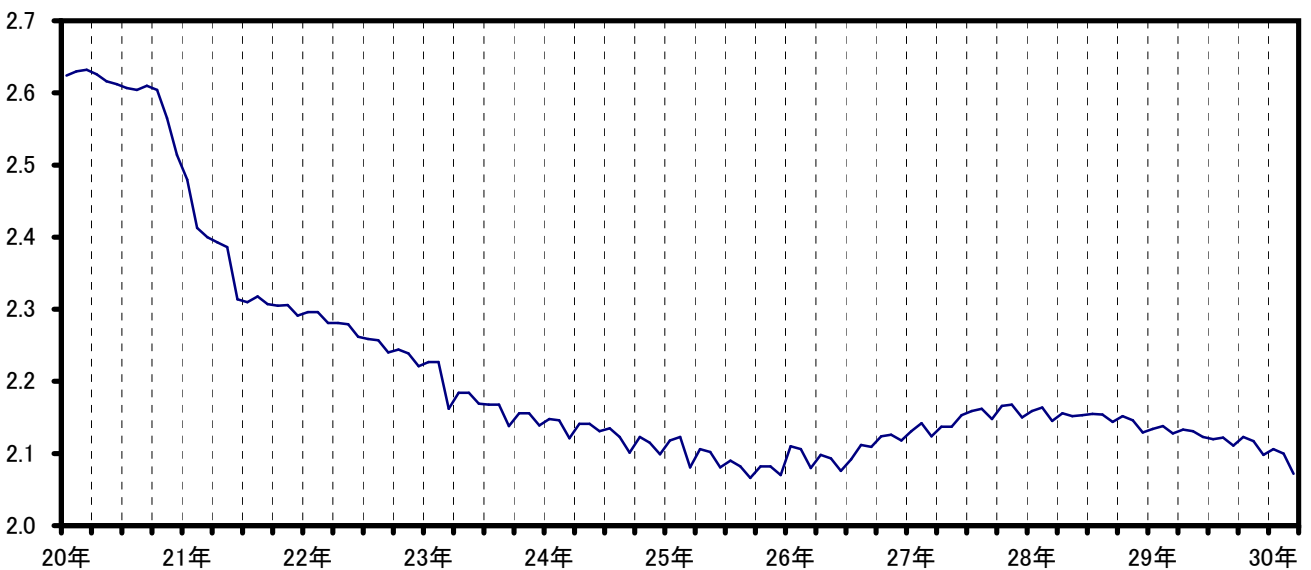
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**3月 = 24,143百万円**

*前年同月比： 7.3%減

<概況>

3月の保証承諾は、金額は24,143百万円（前年同月比 7.3%減）と、4か月連続で前年実績を下回り、件数は2,314件（同 4.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
保証金額（百万円）	18,145	19,319	15,886	20,201	23,366	13,633	17,320	24,143
前年同月比（%）	▲ 19.6	▲ 17.1	▲ 6.8	4.7	▲ 4.0	▲ 3.0	▲ 4.7	▲ 7.3
保証件数（件）	1,933	2,009	1,635	1,930	2,317	1,486	1,824	2,314
前年同月比（%）	▲ 11.0	▲ 13.4	▲ 8.2	2.2	▲ 1.9	▲ 1.2	0.3	▲ 4.1

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**4月 = 107.43円/ドル**

*前月差： 1.43円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 2.63円高

<概況>

4月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は107.43円で、前月と比べて1.43円の円安となり、4か月ぶりの円安となった。

<最近の動き>

	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
平均相場（円）	110.68	112.96	112.92	112.97	110.77	107.82	106.00	107.43
前月差（円）	0.77	2.28	▲ 0.04	0.05	▲ 2.20	▲ 2.95	▲ 1.82	1.43
前年同月差（円）	8.64	9.14	4.74	▲ 2.98	▲ 3.96	▲ 5.24	▲ 7.01	▲ 2.63

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****4月 = 12件**

*前年同月比： 47.8%減

<概況>

4月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は12件（前年同月比 47.8%減）、負債総額は2,113百万円（同 68.0%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が10件と全体の83.3%を占め、245か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

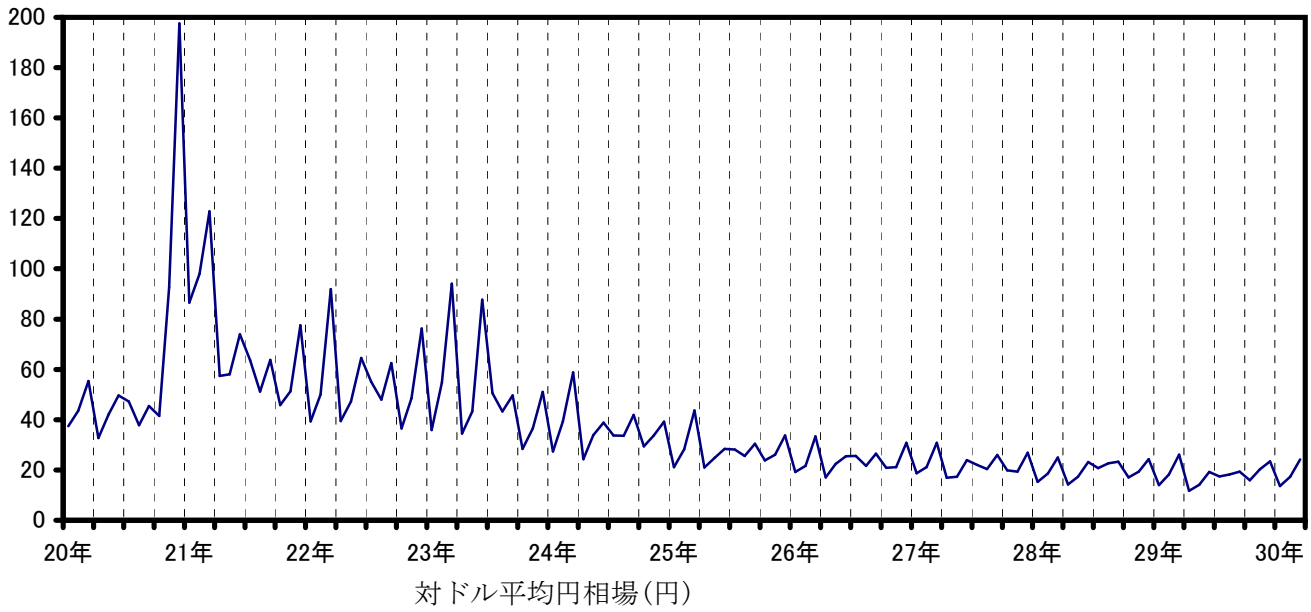
	29年9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月
倒産件数（件）	23	23	21	15	18	22	26	12
前年同月比（%）	4.5	76.9	10.5	▲ 57.1	12.5	22.2	▲ 16.1	▲ 47.8
うち不況型倒産件数（件）	22	20	21	13	17	20	25	10
負債総額（百万円）	1,558	3,542	8,404	1,255	2,369	2,688	3,065	2,113
前年同月比（%）	▲ 32.6	117.1	310.1	▲ 77.9	40.4	▲ 65.4	▲ 57.7	▲ 68.0

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

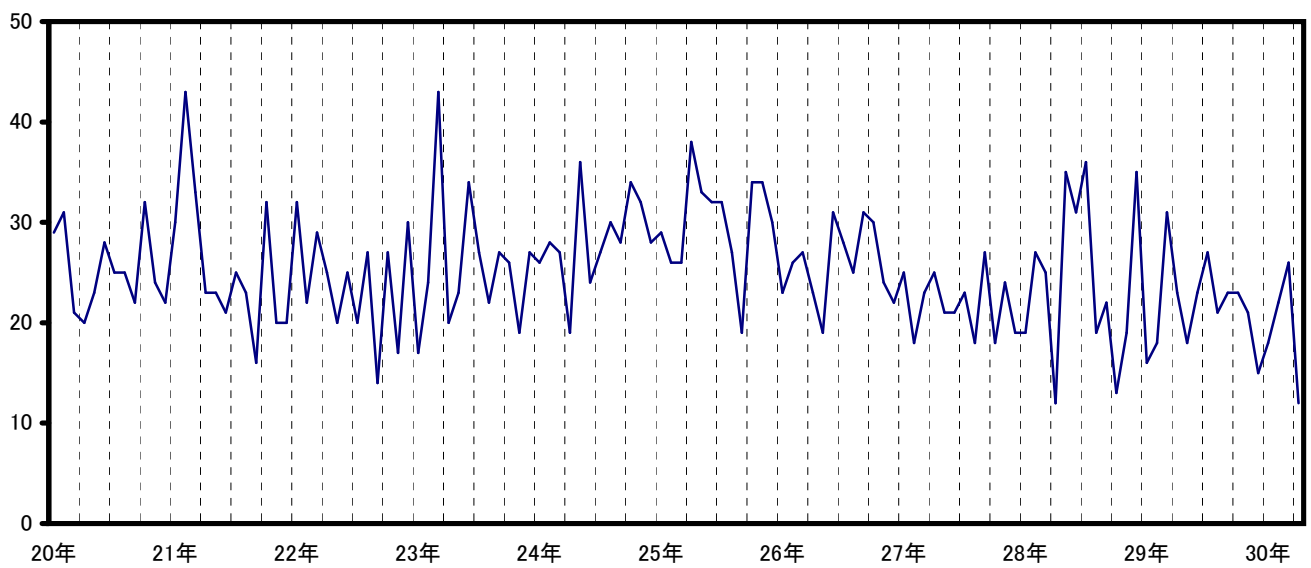
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成30年3月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>3月の国内二輪車生産台数は、60,782台（前年同月比 15.7%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、13,408台（同 7.5%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,467台（同 59.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,178台（同 43.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、40,729台（同 18.3%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、37,939台（同 7.9%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、49,626台（同 4.8%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>3月の自動車国内生産台数は、932,003台（前年同月比 0.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。なお、輸出は441,675台（同 5.3%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、乗用車が2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>3月の冷蔵庫の国内出荷額は418億円（前年同月比 6.2%増）と、3か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は466千台（同 2.9%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>3月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは916千台（同 12.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は74千台（同 5.7%増）と、12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>2月の携帯電話の国内出荷台数は、1,507千台（同 0.0%）と、前年実績と同水準だった。うち、スマートフォンは、975千台（同 3.7%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 64.7%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>3月の工作機械の受注総額は、1,828億6,000万円（前年同月比 28.1%増）と、16か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は1,073億900万円（同 18.9%増）と、16か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが547億5,400万円（同 8.5%増）と、16か月連続で前年実績を上回った。内需は755億5,100万円（同 44.0%増）と、14か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「工作機械業界の受注は好況を維持している」という声や「自動車や半導体関連装置の売上は堅調ながら、資材や人件費の上昇から収益面は伸びていない」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>3月の県内楽器メーカーの販売金額は、53億4,048万円（前年同月比 6.1%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は輸出向けが23億418万円（同 9.8%減）、国内向けが30億3,630万円（同 22.5%増）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,792台（同 7.3%減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,796台（同 15.1%減）、グランドピアノが996台（同 11.3%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが1,995台（同 4.0%増）、国内向けが1,305台（同 5.8%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>3月の紙・板紙の国内出荷高は、2,233千トン（前年同月比 1.2%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,210千トン（同 4.6%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。板紙は1,023千トン（同 3.2%増）と、17か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、673千トン（同 5.2%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、162千トン（同 0.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>3月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,007千箱（前年同月比 1.1%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は661千箱（同 5.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は476千箱（同 3.0%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は346千箱（同 15.7%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,952千箱（同 4.2%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>3月の広幅織物の県内生産は、1,332千㎡（前年同月比 0.8%増）と、17か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,259千㎡（同 0.9%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、73千㎡（同 41.6%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、34㎡（同 1.4%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>3月の全国百貨店での家具販売額は、56億2,981万円（前年同月比 10.3%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、506億6,249万円（同 2.9%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>3月の県内百貨店・スーパーの販売額は、33,271百万円（既存店前年同月比2.8%減）と、前年実績を下回った。品目別に見ると、「衣料品」、「身の回り品」、「飲食料品」、「家庭用品」、「その他の商品」、「食堂・喫茶」と全ての項目で販売額が前年実績を下回った。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りでは、ドラッグストア等との異業種間競争が激化し、売上げが減少していた。また、県内の総合スーパーへの聞き取りでは、好天の影響もあり、春物の衣料品の売上げが好調であった。中部の百貨店への聞き取りでは、周辺大型店のリニューアルによる集客効果が継続しており、来客数が増加していた。</p> <p>J R 静岡駅周辺の商業施設では、昨年からリニューアルが相次ぎ、来客数は好調に推移している。エリア全体の集客力、回遊性が向上しており、街の活性化につながっている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>3月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約51万人と、前年同月比5.9%増だった。</p> <p>はままつフラワーパークでは、昨年と比較して、桜の開花が早く、3月の来場者数の大幅な増加につながった。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は約78万台と、前年同月に比べて0.7%増だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
完成車生産台数(台)	14,990	16,110	14,890	16,922	16,792	13,704	13,173	20,900	19,397
前年同月比(%)	▲10.9	20.0	7.8	▲15.8	▲30.8	▲30.9	▲31.3	▲5.3	▲30.2
KD輸出額(百万円)	772	575	496	603	606	531	539	650	515
前年同月比(%)	14.0	▲24.6	▲26.2	4.4	▲15.7	▲25.8	▲24.3	▲7.8	▲20.9

<楽器>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
生産総額(百万円)	3,355	2,933	3,078	3,305	3,334	3,298	2,534	2,905	3,072
前年同月比(%)	▲12.1	▲11.4	▲20.1	▲10.6	▲8.3	0.1	▲17.8	▲13.8	▲17.5

<缶詰>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
食缶生産高(千ケース)	966	976	965	967	992	894	806	878	1,007
前年同月比(%)	▲5.4	▲0.1	▲9.3	▲5.0	2.3	9.6	▲2.4	1.4	1.1
うち水産缶詰(%)	▲11.5	▲13.0	▲14.3	▲8.6	▲0.8	7.7	▲4.2	▲0.5	▲5.2
農畜産缶詰(%)	11.6	42.4	6.2	5.2	10.9	14.3	2.0	5.5	15.7
飲料缶生産高(千ケース)	8,384	7,648	6,297	5,945	6,345	5,513	4,694	5,196	6,952
前年同月比(%)	▲1.1	3.0	▲11.9	▲9.4	▲4.5	▲7.9	▲4.9	▲9.8	▲4.2

<繊維>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
広幅織物(千㎡)	1,120	1,110	1,411	1,493	1,679	1,589	1,515	1,333	1,332
前年同月比(%)	▲1.2	▲2.2	▲3.3	▲1.9	▲0.8	▲6.2	▲3.1	▲3.3	0.8
小幅織物(千㎡)	27	25	31	32	32	33	32	35	34
前年同月比(%)	▲0.7	▲6.0	3.5	2.5	▲0.6	▲1.1	▲3.8	▲0.5	1.4

<観光>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
観光施設(10施設)入込 (千人)	334	563	391	331	374	251	287	263	512
前年同月比(%)	▲7.9	2.0	6.2	▲23.3	7.2	▲10.2	▲0.2	▲1.7	5.9
有料道路(5路線)通行量 (千台)	774	883	704	670	735	725	639	625	783
前年同月比(%)	2.5	2.4	3.9	▲5.7	4.8	▲2.2	▲5.7	▲9.2	0.7

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成30年5月号 通巻505号

発行 静岡県経済産業部
平成30年5月

編集 経済産業部産業革新局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>